Cisco C880 M4 サーバファームウェア更新ガ イド

初版: 2016年08月24日

はじめに

このドキュメントでは、Cisco C880 M4 サーバのファームウェアを更新する方法として、次の2つの手順について説明します。

- ・オフラインファームウェア更新手順:サーバの電源がオフのときに開始します。
- オンラインファームウェア更新手順:サーバの電源がオンのとき(起動中)に開始します。

2つの手順は、手順を開始する際のシステム状態が異なること以外は同じです。

どちらの更新手順も、Management Board (MMB) Web UI から Unified Firmware Update を実行しま す。Unified Firmware Update は、次のファームウェアを更新します。

- •BIOS ファームウェア
- •BMCファームウェア
- MMB ファームウェア

BIOSファームウェアとBMCファームウェアのデータは、各システムボード(SB0、SB1、SB2、SB3)のROMデバイスに保存されます。MMBファームウェアのデータは、MMBのROMデバイスに保存されます。

各システム ボードの BIOS ファームウェアのバージョンは同じである必要があります。また、各 システム ボードの BMC ファームウェアのバージョンも同じである必要があります。システム ボードをスペアのシステムボードに交換すると、新しいシステムボードのバージョンと他のシス テムボードのファームウェアのバージョンが異なる可能性があります。このような場合は、Unified Firmware Update を実行して、すべてのファームウェア バージョンを同じにします。

手順の概要

この全ワークフローの一部として、「オフラインファームウェア更新手順」を実行することをお 勧めします。

- **ステップ1** OSをシャットダウンし、システムの電源をオフにします(ただし、AC電源ケーブルは外さないでください)。
- **ステップ2** Cisco UCS Director から C880 M4 サーバの ManageMent Board (MMB) への IPMI コマンド発行を停止しま す。
- **ステップ3** MMB Web UI から Unified Firmware Update を実行してファームウェア バイナリを適用し、ファームウェア バイナリの実行が開始されるようにします。
- ステップ4 「ユーザ名とパスワードの変更」の説明に従って、BMCの新しいユーザ名とパスワードを設定します。
- ステップ5 Cisco UCS Director から C880 M4 サーバへの IPMI コマンド発行を再開します。

オフライン ファームウェア更新手順

- ステップ1 管理者権限を使用して、MMB Web UI にログインします。
- ステップ2 [Navigation] バーから [System] を選択します。
- ステップ3 システムの電源をオフにします(ただし、AC 電源ケーブルは外さないでください)。
- ステップ4 [Navigation] バーから [Maintenance] を選択します。
- **ステップ5** [Firmware Update] > [Unified Firmware Update] を選択します。
- **ステップ6** ファームウェア ファイルを選択します。
- **ステップ7** [Update] をクリックします。 ファームウェアバージョンの確認ウィンドウが表示されるまで待ちます。これには、約5分かかります。
- **ステップ8** ファームウェアのバージョンを確認し、[OK] をクリックします。 経過表示バーが約1分後に表示されます。
 - •ファームウェアの更新には、MMB 設定あたり約70分かかります。
 - MMB 設定ごとに、Web UI にログインする前に約5分待ちます。Web UI はファームウェア更新時に 切断されます。

オンライン ファームウェア更新手順

はじめる前に

更新を開始する前に、システムが起動中の状態で、かつ、OS が動作していないことを確認します。

- ステップ1 管理者権限を使用して、MMB Web UI にログインします。
- ステップ2 [Navigation] バーから [Maintenance] を選択します。
- ステップ3 [Firmware Update] > [Unified Firmware Update] を選択します。
- ステップ4 ファームウェアファイルを選択します。
- **ステップ5** [Update] をクリックします。 ファームウェアバージョンの確認ウィンドウが表示されるまで待ちます。これには、約5分かかります。
- ステップ6 ファームウェアのバージョンを確認し、[OK] をクリックします。

経過表示バーが約1分後に表示されます。ファームウェアの更新には、MMB設定あたり約70分かかります。

(注) このオンラインファームウェア更新手順では、ファームウェアの新しいバージョンが ROM デ バイスに書き込まれます。新しいファームウェアをサーバに適用するには、サーバの電源をいっ たんオフにし、再度オンにします。

新しいファームウェアがシステムに適用される際には、Web UI は切断されます。Web UI にログインする 前に約 5 分待機します。

ユーザ名とパスワードの変更

セキュリティ上の理由から、BMC のログイン クレデンシャルの設定が、C880 M4 リリース バー ジョン 1.0.2 のリビジョンで変更されました。

(注) 新しい BMC ログイン クレデンシャルの設定は、E7-8800 v3 CPU が搭載された C880 M4 の最 初のファームウェア リビジョンで実装されています。

- ユーザ名とパスワードは無効になっています。
- ・ユーザ名とパスワードは MMB CLI コマンドで設定できます。

以前のリビジョンでは、デフォルトのユーザ名とパスワードの組み合わせは admin/admin で、これは変更できませんでした。新しいファームウェアを適用すると、BMCのユーザ名とパスワード

1

は無効になります。IPMI処理を行うためにBMCにログインする必要がある場合、次に示すMMB CLI コマンドを使用して、ユーザ名とパスワードを設定する必要があります。

set bmc user <user id> <password> <password> quiet

```
user id: a username to be registered
password: a password for the username
password: the confirmation password
```

例:

set bmc user admin admin admin quiet

新しいユーザ名を設定せずに IPMI コマンドを BMC に入力すると、ユーザ名が無効なため LAN 接続を確立できないことを示すエラー メッセージが表示されます。

© 2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.